



Oracle® Hyperion Financial Management

リリース 11.1.2.3.000

Readme

ORACLE
ENTERPRISE PERFORMANCE
MANAGEMENT SYSTEM

目次

目的	2
このリリースでの新機能	2
インストール情報	2
Oracle Database の要件	2
サポートされているプラットフォーム	3
サポートされている言語	3
サポートされているこのリリースへのパス	3
このリリースで修正された問題	4
既知の問題	8
ドキュメントの更新事項	13
ドキュメントのフィードバック	15
アクセシビリティの考慮事項	16

目的

このドキュメントには、Oracle Hyperion Financial Management のこのリリースに関する重要な最新情報が含まれています。Oracle Enterprise Performance Management System をインストールする前に、この Readme を熟読してください。

このリリースでの新機能

Oracle Hyperion Financial Management New Features を参照してください。このリリースにおけるインストール、アーキテクチャおよび配置の変更に関連する新機能は、Oracle Enterprise Performance Management System Readme のこのリリースの新機能に関する項を参照してください。

リリース 11.1.2.0、11.1.2.1 または 11.1.2.2 を使用していた場合、累積機能概要ツールを使用して、これらのリリース間で追加された新機能のリストを確認してください。このツールを使用すると、現在の製品、現在のリリース・バージョン、ターゲット実装のリリース・バージョンを特定できます。シングルクリックによって、現行リリースとターゲット・リリースの間に開発された製品機能の高レベルな説明のカスタマイズ済セットが迅速に生成されます。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1092114.1>

インストール情報

EPM System 製品のインストールに関する最新情報は、Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Readme を参照してください。EPM System 製品をインストールする前に、この情報をよく確認してください。

Oracle Database の要件

- Financial Management に Oracle Database Client 10.2.x または 11.1.x を使用する場合は、すべての Financial Management アプリケーション・サーバーおよび Web サーバーで Oracle OLE DB の StmtCacheSize レジストリ設定を 10 にする必要があります。これは、Oracle Provider for OLE DB のメモリの問題によるものです。レジストリの設定パスは Hkey_Local_Machine\Software\Oracle\Key_Homename\Oledb です。11.2.x Oracle Database Client は変更できないので注意してください。

高いメモリー使用量を解決するため、Statement Caching を有効にします。構成値はゼロにできません。推奨される値は 1 から 10 です。

1. 次のレジストリ値を編集します: Hkey_Local_Machine\Software\Oracle\Key_Homename\Oledb 値名: StmtCacheSize 値(小数):1。ここで Key_Homename は該当する Oracle ホームを指します。
2. Financial Management アプリケーション・プロセスを停止して再起動します。

- また、64 ビットのオペレーティング・システムで System 11 と 10g データベースを一緒に使用する場合は、すべての Financial Management サーバーの Oracle OLE プロバイダが少なくとも 10.2.0.4.21 以上である必要があります。

32 ビットと 10g の組合せの場合、Oracle OLE プロバイダのバージョンは、データベース・サーバーのバージョンと同じか、それ以上である必要があります。32 ビットまたは 64 ビットを実行していて、11.1.0.6 か 11.1.0.7 の OLE プロバイダを使用する場合は、Oracle Database Client 11.1.0.7.33 以上にアップグレードする必要があります。

サポートされているプラットフォーム

EPM System 製品のシステム要件およびサポートされているプラットフォームに関する情報は、Oracle Enterprise Performance Management System Certification Matrix にスプレッドシート形式で提供されます。このマトリックスは、Oracle Technology Network (OTN) の「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに掲載されています:

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

32 ビット・プラットフォームおよび Win32 クライアント

32 ビット・プラットフォームおよび Win32 クライアントは、リリース 11.1.2.3 より後の Financial Management ではサポートされなくなります。詳細は、Oracle Enterprise Performance Management System Certification Matrix を参照してください。

サポートされている言語

EPM System 製品のサポートされている言語に関する情報は、Oracle Enterprise Performance Management System Certification Matrix の「Translation Support」タブにスプレッドシート形式で提供されます。このマトリックスは、OTN の「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに掲載されています:

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

サポートされているこのリリースへのパス

EPM System は、次のリリースからリリース 11.1.2.3 にアップグレードできます:

注意: アップグレードの手順は、Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Guide の EPM System 製品のアップグレードに関する項を参照してください。"

表 1 サポートされているこのリリースへのパス

アップグレード前のリリースとアップグレード・パス	リリース 11.1.2.3 へのアップグレード
11.1.2.x	メンテナンス・リリースをリリース 11.1.2.3 に適用します。 Oracle Hyperion Financial Close Management の場合、メンテナンス・リリースの適用はリリース 11.1.2.1 およびリリース 11.1.2.2 以降でのみサポートされています。
11.1.1.4.x	リリース 11.1.2.3 にアップグレードします。
リリース 11.1.1.0.x -> 11.1.1.3.x	メンテナンス・リリースをリリース 11.1.1.4 に適用してから、リリース 11.1.2.3 にアップグレードします。
リリース 9.3.3.x	リリース 11.1.2.2 にアップグレードしてから、メンテナンス・リリースをリリース 11.1.2.3 に適用します。
複数のリリースが含まれている環境。1 つの Oracle Hyperion Shared Services のインスタンスが含まれている環境、または 2 つの Shared Services のインスタンスが含まれている環境	Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Guide の EPM システム製品のアップグレードの章に記載されている、複数リリース環境からのアップグレードに関する説明を参照してください。

注意: リリース 9.2.0.3+、9.3.0.x、9.3.1.x (Oracle Essbase 9.3.1.4.1、9.3.1.5、9.3.1.6 および 9.3.1.7 を除く) または 11.1.1.x から開始する場合、まずリリース 11.1.1.3 にアップグレードしてからメンテナンス・リリースをリリース 11.1.1.4 に適用し、続いてリリース 11.1.2.3 にアップグレードすることをお勧めします。前のリリースから開始する場合、開始するリリースからのアップグレードを直接サポートしている最高レベルのリリースにアップグレードすることをお勧めします。

Essbase と Shared Services との間のセキュリティの同期は、リリース 9.3.1.4.1 以降の Essbase リリース 9.3 では削除されていました。ただし、Essbase および Oracle Hyperion Shared Services リリース 11.1.1.3 では、セキュリティ情報は同期されます。このため、Oracle Essbase リリース 9.3.1.4.1、9.3.1.5、9.3.1.6 または 9.3.1.7 を使用している場合は、まずすべての製品をリリース 9.3.3 にアップグレードしてからリリース 11.1.2.2 にアップグレードし、続いてメンテナンス・リリースをリリース 11.1.2.3 に適用する必要があります。

このリリースで修正された問題

この項では、リリース 11.1.2.3.000 で修正された不具合について説明します。以前のリリース間で修正された不具合のリストを確認するには、Defects Fixed Finder を使用します。このツールを使用すると、所有している製品および現在の実装リリースを特定できます。シングルクリックによって、修正された不具合の説明および関連するプラットフォームとパッチ番号を示すカスタマイズされたレポートが生成されます。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1292603.1>

- 16425761 - メタデータに新しいメンバーを追加すると、エラーが発生します。

- 16417027 - 連結中、仮想メモリー使用率が高くなるためにシステムが適切に機能しません。
- 16340782 - データ・フォームを開くのに長い時間がかかります。
- 16322089 - 内部取引照合レポートのパートナ・フィールドに対する POV フィルタ処理が正しく機能しません。
- 16224308 - データ・フォームで複数のメンバーを追加すると、最初のメンバーのみが追加されます。
- 16191099 - プロセス・コントロールでプロセス履歴を表示すると、エラーが発生します。
- 16062656 - アプリケーション・ツールボックス・ユーティリティによりメンバーが抽出された場合、結果に列が表示されません。
- 16062543 - タスクリストへの内部取引レポートの追加が正しく機能しません。
- 16029678 - HFM 形式を使用して内部取引レポートを開くと、レポートが正しく表示されません。
- 16024181 - 管理者以外のユーザーは保存済の内部取引を表示できません。
- 16012291 - データ・フォームで、入力セルをダブルクリックしたときに、導出された値が強調表示されません。
- 16012174 - データ・フォームの指示が正しくフォーマットされません。
- 16010781 - 「非表示」オプションが有効になっている場合、データ・フォームを開くことができません。
- 16010649 - 内部取引で、ルール内にメンバー・リストを正しく使用できません。
- 15972211 - 書戻しの使用可能化のロールを持たないユーザーはデータを送信できないようにする必要があります。
- 15966240 - 別の連結比率を適用すると、データ・フォームに正しい値が表示されません。
- 15947190 - 「仕訳」モジュールで、ICP POV メンバーに対するフィルタが正しく機能しません。
- 15928672 - プロセス・コントロール・グリッドをいったん閉じてから再び開くと、「アクティブなもののみ表示」設定が保持されません。
- 15921029 - Web または Smart View でデータ・フォームを開くのに、長い時間がかかります。
- 15897363 - メタデータ・マネージャで、エンティティ次元に親エンティティを追加すると、子孫エンティティが表示されません。
- 15888713 - Smart View では、SQL Server または Oracle データベースと同様にデータを送信できません。
- 15888696 - 仕訳で、消去仕訳を開くとエラーが発生します。
- 15881342 - メタデータ・ファイルで更新を行うと、メンバー属性が正しく機能しません。
- 15878173 - 階層メンバーを含む内部取引を抽出すると、エラーが発生します。

- 15872798 - シナリオを変更した後、「エクイティ・ピックアップ」モジュールによって所有者の割合がリフレッシュされません。
- 15872599 - データ・フォームで、長さが MaxCellTextSize のセル・テキストを送信できません。
- 15856243 - フォーム・スクリプトを保存すると、データ・フォームのリンクが誤って削除されます。
- 15850137 - セル・プロパティの表示データと実際の表示データが同じになりません。
- 15849970 - データ・フォームの「メンバー」列で次元メンバーを選択した場合、そのフォームのメンバーが変更されません。
- 15849735 - プロセス管理の提出フェーズ 9 で計算できません。
- 15831255 - ApplicationToolbox ユーティリティによってエンティティ次元属性が Excel にエクスポートされません。
- 14849733 - セル・テキストにチルダ(~)文字が含まれている場合、そのデータをロードできません。
- 14844151 - Smart View で、アドホック機能をドリルスルーすると、直接の親ではなくデフォルトの親と子が表示されます。
- 14831280 - データ・フォームに 1024 を超える行および 256 を超える列は表示できません。
- 14774347 - メタデータ・マネージャで階層を縮小すると、メンバー属性の説明が他のエンティティに誤って適用されます。
- 14774074 - アプリケーションをいったん閉じてから再び開くと、プロセス・コントロールのステータスが正しく表示されません。
- 14736698 - 「仕訳の抽出」タスクフロー・アクションでメンバー・リストを使用できません。
- 14725955 - 「出資比率の管理」モジュールで、内部グリッドの更新中およびデータの取得中にエラーが発生します。
- 14725236 - Smart View でデータ・フォームを開くと、無効な文字のエラーが発生します。
- 14705542 - 個々の仕訳を印刷する際に、行の説明が含まれません。
- 14669802 - 「エンティティの詳細」レポートに転記済仕訳のリンクが表示されません。
- 14646242 - Calculation Manager でのルールの再デプロイが正しく機能しません。
- 14645088 - 内部取引の一部である ICP メンバーの名前を変更した場合、メタデータのロード中にエラーが発生します。
- 14636289 - リリース 11.1.2.2.300 では、クラスタのみが登録されていても、Smart View パネルには Financial Management のクラスタおよびサーバーが表示されません。
- 14610603 - データ・フォームで、「位取り」パラメータが正しく機能しません。
- 14600694 - Smart View でセル・リンクを含むデータ・フォームを開くと、エラーが発生します。

- 14597509 - タスクの実行において、複数の連結の指示または警告メッセージが表示されません。
- 14587478 - Internet Explorer 9 でカスタム・ドキュメントが正常に機能しません。
- 14587002 - データ・フォームの「メンバーの追加」機能は、複数の行に対して正しく機能しません。
- 14584530 - 1000 を超えるレコードを含む期首残高仕訳を開くことができません。
- 14582304 - HTML 形式で生成された内部取引パートナ・レポートは保存できません。
- 14581357 - 内部取引照合レポートのすべてのフォーマットに対してカスタムの別名が表示されません。
- 14580323 - データ・フォームで、期間に対するアクセス権がないユーザーが「計算」または「計算の強制」を実行すると、エラーが発生します。
- 14578560 - 内部取引レポートで「非表示」オプションは保存されません。
- 14578307 - アプリケーションのコピー・ユーティリティでリリース 9.3.3 のアプリケーションをコピーすると、誤ったデータが格納されます。
- 14562735 - データ・グリッドへのアクセス中にエラーが発生します。
- 14545294 - 197MB のデータ・ファイルをロードできません。
- 14545217 - リリース 11.1.2.2.300 では、Calculation Manager でのルールの再デプロイが正しく機能しません。
- 14543303 - 行にメンバー・リストを含む ICP 次元がある場合、データ・フォームで POV が正しく保存されません。
- 14537307 - 期間次元に親メンバーが選択されている場合、データ・フォームが正しく機能しません。
- 14533537 - ユーザーがアプリケーションにログインできません。
- 14530163 - データ・グリッドからロックされたセルに対してドリル・スルー・オプションを使用できません。
- 14472038 - 「算出データ」オプションが選択されていないのに、NoInput データが抽出されます。
- 14405218 - 内部取引照合レポートで、アクティブなエンティティのみのメンバー・セレクトに、現在の POV のメンバーが表示されません。
- 14403679 - データ・フォームで「計算の強制」オプションを選択した場合、フォームが自動的にリフレッシュされません。
- 14399702 - EPMA によるメタデータ・ロードが正しく機能しません。
- 14388841 - 非アクティブのタイムアウト後にページをリフレッシュすると、「連結」メニューにエラーが表示されます。
- 14350095 - データ・グリッドで、シナリオが列に存在する場合、メンバー・セレクトに「アクティブなもののみ表示」が正しく表示されません。
- 14336993 - POV の詳細が Smart View のリンク付きフォームに渡されません。

- 14288246 - 仕訳の Custom3 次元を選択できません。
- 14005018 - セル・テキストを含むデータのロードには、セル・テキストを含まないデータのロードよりもはるかに長い時間がかかります。
- 13987666 - データ・フォームの行で SCalc 関数を使用すると、右クリックしてもコンテキスト・メニューが表示されません。
- 13813495 - データベース管理で、「セル・テキストのコピー」オプションを選択した場合、「データのコピー」でシナリオをコピーすると非常に長い時間がかかります。
- 13475898 - EPMA アプリケーションで、「セキュリティのロード」オプションおよび「メタデータ」オプションを非表示にできません。
- 13471075 - 「システムのユーザー」モジュールで、現在のモジュールが正しく表示されません。
- 13467708 - データ・フォームで、列の長さの合計が非常に長い場合、カスタム・ヘッダーにすべてのテキストは表示されません。
- 12803477 - 「エクイティ・ピックアップ」レポートで所有エンティティをフィルタ処理すると、選択したエンティティが表示されません。
- 12608310 - 内部取引照合レポートで、「子」メンバー・リストを使用すると、空のレポートが戻されます。
- 12607803 - プロセス・コントロールで、アクティブなエンティティのみを表示オプションが正しく機能しません。
- 10040068 - 抽出されたレコードの日付が、HFMAuditExtractUtility の開始日に基づいた適切な日付になっていません。
- 6571923 - ネイティブ・グループをプロビジョニングする際に、セキュリティ・クラスが正しく機能しません。

既知の問題

このリリースで注意が必要な既知の問題は次のとおりです。

アプリケーション

- 16698074 -- 長時間の経過後に Financial Management アプリケーションを開くと、エラーが発生する可能性があります。この問題が発生した場合、Oracle サポートに連絡してください。
- 13816644 -- アプリケーションには期間次元の基本レベルに期間の対称性が必要です。それ以外の場合は、エラーが発生します。
- Financial Management が正常にシャットダウンされない場合、再起動時に一時ファイルが残ることがあります。最適なパフォーマンスを確保するには、Financial Management を起動する前に、サーバーの作業用フォルダから*.db.*の付くファイル名をすべて削除します。
- リレーショナル・データベース・テーブルの初期作成時に十分なスペースが確保されない場合、アプリケーションは作成できますが、アプリケーション

を開くことや削除することができません。データベース・テーブルの作成は、データベース・ガイドを参照してください。

- 値次元の調整メンバーに対して計算ロジックを実行するには、AllowAdjs エンティティ属性を使用可能にする必要があります。それ以外の場合、エンティティは「OK」ステータスに変更できません。
- 9388078 - データベースがオフラインになってからオンラインに戻された場合は、Financial Management システムを再起動する必要があります。
- Financial Management の「管理者」メニュー・アイテムおよび機能に Oracle Hyperion Enterprise Performance Management Workspace でアクセスするには、Financial Management 管理者の役割、または Financial Management アプリケーション作成者の役割が割り当てられている必要があります。
- 13903569 - クラシック・アプリケーションと Oracle Hyperion EPM Architect アプリケーションの両方で Financial Management アプリケーションを削除するには、プロジェクト・マネージャのグローバル・セキュリティ・ロールが割り当てられている必要があります。この役割が割り当てられていない場合、アプリケーションは正常に削除されません。
- 7638942, 7834482 - Oracle Database を使用しているとき、Financial Management アプリケーション名の特定の文字が原因でアプリケーションを作成できない場合や、アプリケーションが存在しないことを示すエラーが表示される場合があります。アプリケーション名にトルコ語の「I」やドイツ語の「sharp ess」は使用しないでください。

連結

連結の実行時に、「値が列またはテーブルの整合性の制約に違反しました」という説明のあるエラー「HsvData2 オブジェクトで不明なエラーが発生しました」および「オブジェクトに重複キーを挿入できません」というエラーが発生する場合があります。このエラーを解決するには、無効なレコードを削除します。手順については、Oracle Hyperion Financial Management Administrator's Guide を参照してください。

アプリケーションのコピー・ユーティリティ

アプリケーションのコピー・ユーティリティを使用する際は、データ・リンク接続ファイル(UDL)を作成する必要があります。手順については、Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Guide を参照してください。

カスタム・ドキュメント

16283197 - 600MB 以上のカスタム・ドキュメントをロードすると、エラーが発生し、ファイルはロードされません。回避策: mod_wl_ohs.conf ファイルに移動して WLSocketTimeoutSecs 設定を 3600 秒(1 時間)に変更することにより、エラーを回避します。

ドキュメント・マネージャ

- Financial Management では、すでにロードされているドキュメントと同じ名前でも、ユーザーがアクセス権を持たないセキュリティ・クラスのカスタム・ドキュメントは上書きモードでロードできません。次のエラー・メッセージが表示されます: 「ドキュメントをロードできません。システムにドキュメントが既に存在します。上書きできません。」
- ドイツ語のキーボード文字を含むテキスト・ドキュメント(*.txt)は、Financial Management アプリケーションにロードされた後は元のコンテンツを保持しません。ファイルを抽出して、ネイティブ・ビューア(たとえば、メモ帳やワードパッド)で表示する必要があります。

FDME

- Oracle Hyperion Financial Data Quality Management Enterprise Edition およびソース ERP では、メンバー・ラベルでの "-" や "/" などの特殊文字の使用がサポートされています。Financial Management は、メンバー・ラベルではこのような文字をサポートしていません。
- 為替レートは、Financial Management に直接組み込まれていないため、ユーザーは AIF_HS_EXCHANGE_RATES テーブルから為替レートを手動で選択し、Financial Management に手動で挿入する必要があります。

Financial Reporting

データ・フォームでの動的 POV メンバー・リストをサポートするために、DynamicFilterMemberList という新しい関数が追加されました。この関数は、エンティティ以外のすべての次元に使用する必要があります。エンティティには、DynamicMemberList 関数を使用します。

DynamicFilterMemberList の構文:

```
DynamicFilterMemberList (<ListName>)
```

IBM DB2 データベース

- 64 ビット・バージョンの Financial Management を使用している場合、IBM DB2 9.5 および 9.7 のクライアント・ソフトウェアにある不具合が Financial Management の DB2 データベースとの連携を妨げる可能性があります。問題点は、データベースへのデータの更新を妨げる、データベースの OLEDB Provider 内にあります。詳細は、DB2 不具合の JR32605 を参照してください。この不具合は DB2 9.5 Fix Pack 5 クライアント・ソフトウェアで修正されているため、DB2 9.5 バージョンを使用することをお勧めします。
- 13742721 - Financial Management データベースとして DB2 を使用し、DB 通信プロトコルとして SSL を使用していると、Financial Management がデータベースへの接続に失敗する場合があります。この問題が発生する場合、次の方法を使用して、Financial Management がデータベースへ接続できるようにします。

回避策: Financial Management が DB2 データベースへ接続できるようにするには、すべてのアプリケーションおよび Web サーバーにおいて、2つの新規の NT レジストリ値と 1つの UDL ファイルを作成する必要があります。キー名: HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Hyperion Solutions\Hyperion Financial Management\Server。値名: SystemDataLinkFile、値タイプ: REG_SZ、値: UDL ファイルへのパス。値名: UseUDLFile、値タイプ: DWORD、値: 1。

仕訳

- 期間別組織アプリケーションでは、非アクティブな親子の組合せを選択すると、「親または親子の組合せが無効です」または「無効なエンティティ」というエラー・メッセージが表示されます。
- ユーザーに仕訳を作成するためのセキュリティ権限を割り当てるときは、仕訳の作成および仕訳の読取りアクセス権をユーザーに割り当てる必要があります。

ライフサイクル管理

- 16320868 - 分散 Financial Management 環境では、その環境内のすべての Financial Management アプリケーション・サーバーに、読取り/書込みアクセス権のある UNC パスのインポート/エクスポート・フォルダを構成します。
- 16447528 - Oracle Hyperion Enterprise Performance Management System Lifecycle Management の共有インポート/エクスポート・フォルダにアクセスする場合は、ASP.NET のプロセス・アイデンティティの適切なログイン情報が必要です。ユーザー名およびパスワードのログイン情報を指定する際は、最小権限の原則を忘れないでください。ローカル・アカウントを指定した場合、リモート・コンピュータに重複するアカウントを作成しないと、ネットワークで Web アプリケーションを認証できません。最小権限のドメイン・アカウントを使用する場合は、ネットワーク上の必要なコンピュータにのみアクセスする権限を持つアカウントにしてください。

ロード

- 11769013 - 置換モードを使用してデータをロードする際、後続の期間のデータが存在すると、次月の値は置換されるかわりに累計されます。この場合は、データ・ファイルにシナリオのデフォルト・ビューと同じビューを使用してデータを再ロードします(例: YTD)。中間期間をロードする際も、同じデータ・ファイルに後続のすべての期間を含めてロードしてください。

メタデータ

- 12815856 - 参照チェックを使用したメタデータ・ロード中に、カスタム最上位メンバーの名前を変更したときや、影響を受けるメンバーの子を参照している既存の仕訳が存在する場合にカスタム最上位メンバーがある親から別の親に移動されたときに、システムで誤ったエラーが発生する可能性があります。

- 16249968 - メタデータ・マネージャで、ツリー・ビューに新しい子または兄弟メンバーを追加した後で、新しいエントリを確認するには、[Tab]キーを押す必要があります。

Oracle データベース

- Financial Management で Oracle データベースを使用する際は、次のようなデータベース設定をお勧めします:

OPEN_CURSORS=5000 - 大規模な取引のために必要(ODBC と同様)

PROCESSES=(予測されるアプリケーションおよびアプリケーション・サーバーの数のサポートに必要な数)、インストール・ガイドのデータベース接続プーリングに関する項から採用された数を基準とします。

- Oracle のパフォーマンスを向上させるために、DBA は ICTTransactions テーブルで統計を実行する必要があります。このタスクの実行に使用可能なユーティリティやコマンドは多数あります。次に示すのは、使用可能なコマンドの 1 つです: ANALYZE TABLE APPNAME_ICT_TRANSACTIONS COMPUTE STATISTICS。
- Oracle 11.1.2.x のデータベースは、すべてのインストールにおいてデフォルトで有効になっている Deferred_Segment_Creation 機能を使用します。データの行が挿入された後でのみ、テーブルが作成されます。エクスポート(EXP)・ユーティリティを使用してデータベースをバックアップする場合、行が含まれていないテーブルはレポート内に存在しないため(たとえば、メタデータ DESC 表)、Financial Management が、テーブルの不足が原因で、リストアされたデータベースに対して起動しない可能性があります。

SYSTEM または SYS を使用してインスタンスにログインすることでこの機能を無効にし、強制的にテーブルが自動作成されるように設定を変更することができます。コマンドを発行します:

```
Alter system set deferred_segment_creation=false;
```

このステートメントの発行後に作成されたテーブルは自動的に作成されます。空のテーブルが含まれるインスタンスがすでに存在する場合にアプリケーションをエクスポートするには、各テーブルを強制的に作成するように個別に変更し、テーブルが EXP (エクスポート)コマンドで使用されることを許可できます。空のテーブルごとに次のコマンドを発行します:

```
Alter table <table_name> allocate extent;
```

Smart View

- 13630839 - Financial Management が IIS7 (Windows 7 または 2008)にインストールされている場合、Oracle Hyperion Smart View for Office を介して接続すると、セッション・エラーが発生します。

システム・レポート

- インストールで提供される Oracle Business Intelligence Publisher のテンプレートには、固定数の列が含まれます。列を追加するには、次の手順を実行します:

BI Publisher バージョン 11.1.1.6 を使用してテンプレートを作成します。

BI Publisher デスクトップがインストール済で、Microsoft Office Word で構成済であるか確認します。

Microsoft Office Word でテンプレートを開き、いずれかの既存の列をコピーして末尾に貼り付けます。

フィールドをダブルクリックしてスクリプトを開き、必要に応じて変更します。

変更をプレビューするには、テンプレートのプレビューをクリックしてから、PDF、HTML、RTF、XLS を BI Publisher メニューからクリックします。

詳細は BI Publisher のドキュメントを参照してください。

- 64 ビットの Financial Management を使用し、Oracle Business Intelligence Publisher を使用してシステム・レポートを実行すると、「アクセスが拒否されました」というエラーが発生する場合があります。この問題を解決するには、次の手順を実行します:

Financial Management サーバーおよび Financial Management アプリケーション・サーバーに対して、ドメイン・アカウントを使用します。IIS 6 Web サーバーでは、アプリケーション・プール ID をドメイン・ユーザーに設定し、次のディレクトリに適切な権限を設定します:

```
C:\windows\help\iishelp\common: Read and Execute, List Folder Contents, Read
```

```
C:\windows\system32\inetsrv\ASP Compiled Templates: Full Control
```

```
C:\windows\IIS Temporary Compressed: Full Control
```

このユーザーは IIS_WPG グループにも追加する必要があります。

ドキュメントの更新事項

EPM System 製品ドキュメントへのアクセス

各 EPM System 製品ガイドの最新版は、OTN Web サイトの EPM System Documentation 領域(<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>)からダウンロードまたは表示できます。Oracle Enterprise Performance Management System Documentation Portal (<http://www.oracle.com/us/solutions/ent-performance-bi/technical-information-147174.html>)を使用することもでき、ここからも EPM Supported Platform Matrices、My Oracle Support およびその他の情報リソースにリンクできます。

配置関連のドキュメントは、Oracle Software Delivery Cloud Web サイト(http://edelivery.oracle.com/EPD/WelcomePage/get_form)からも入手できます。

個々の製品ガイドは、Oracle Technology Network Web サイトからのみダウンロードできます。

Financial Management 開発者ガイド

次の項目は、リリース 11.1.2.3 より後は非推奨となり、使用されなくなります。

- Financial Management オブジェクト API。適切な代替 API は、将来のリリースで公開されます。
- Financial Management Web SDK
- Financial Management 開発者ガイドの付録 B で説明されている、拡張分析用の HTTP リスナー。

PDF からのコード・スニペットのコピーと貼付け

PDF ファイルからコード・スニペットを切り取って貼り付ける際、貼付け操作時に一部の文字が失われる場合があります、これによりコード・スニペットが無効になります。回避策: コード・スニペットを HTML バージョンのドキュメントから切り取って貼り付けます。

データ・フォームの使用方法

Oracle Hyperion Financial Management User's Guide の「データ・フォームの使用方法」の章に、セル・テキストの使用に関する追加情報が記載されています。データ・フォームでセル・テキストを表示する場合は、「展開」ボタンをクリックして、読取り専用モードでセル・テキストを表示します。編集可能なセル・テキスト・ボックスに戻すには、「縮小」ボタンをクリックします。より大きな別のテキスト・ボックスでセル・テキストを編集するには、「編集」をクリックします。

入力セルの編集

データ・グリッド、データ・フォーム、出資比率の管理、および送信グループの管理では、入力セルをシングルクリックして編集できます。カーソルが編集可能なセル内にある場合、矢印キーを使用して編集可能なセルに移動してから、そのセルを再びクリックしてデータを入力する必要があります。

メンバー・セレクトのツールチップ

Oracle Hyperion Financial Management User's Guide の複数メンバーの選択に関する項に、メンバー・セクタには最大 20 のメンバーおよびその後に省略記号(...)が表示されると記載されています。ただし、ブラウザの制限により、ツールチップには最初の 512 文字のみが表示され、さらに文字がある場合には省略記号(...)が表示されます。

HS.Input ルール

Oracle Hyperion Financial Management Administrator's Guide の「ルール」の章にある HS.Input ルールの説明は、「データ・ポイントの親エンティティのエンティティ通貨への入力を使用可能になり、これには基本エンティティ・レベルでデータを入力することもできます。」のように読み替える必要があります。これには、IsCalculated または NoInput に設定されているデータ・ポイントは含まれません。

FDMEE ドキュメントの更新事項

これらの更新事項を Oracle Hyperion Financial Data Quality Management, Enterprise Edition Administrator's Guide に追加する必要があります。

- クラシック・アプリケーションでは、1 言語のみがサポートされています。FDMEE アプリケーションの登録画面でデフォルトとして選択されている言語は、Financial Management 言語リストの最初の言語に挿入するために使用されます。デフォルトの FDMEE 言語が英語で、Financial Management の最初の言語がフランス語である場合、Financial Management で英語メンバーの説明がフランス語の説明にプッシュされます。FDMEE でこれが適切に設定されていることを確認してください。
- EPMA で使用可能なアプリケーションでは、10 言語が Financial Management でサポートされています。ただし、言語に対する大文字と小文字の区別は適用されたままになります。言語は正確に一致している必要があります。ターゲット・アプリケーション登録画面のデフォルトの選択が無視され、FDMEE は FDMEE リストと Oracle Hyperion EPM Architect からの別名メンバー・リストの間で照合を試みます。
- FDMEE は、メタデータのロード時に大文字と小文字を区別します。ソース・システムでは、大文字と小文字が異なる同じメンバーの作成と維持ができる場合もあります。したがって、CORP と Corp の両方がソースに常駐する可能性があります。Oracle Hyperion Financial Data Quality Management Enterprise Edition では、これらは別のメンバーとなりますが、これは Oracle Hyperion Financial Management ではサポートされていません。

ドキュメントのフィードバック

製品ドキュメントに対するフィードバックは、次の電子メール・アドレスに送信してください。

EPMdoc_ww@oracle.com

次のソーシャル・メディア・サイトで EPM Information Development をフォローしてください。

- YouTube - <http://www.youtube.com/user/OracleEPMWebcasts>
- Google + - <https://plus.google.com/106915048672979407731>
- ツイッター - <https://twitter.com/HyperionEPMInfo>
- Facebook - <https://www.facebook.com/pages/Hyperion-EPM-Info/102682103112642>

- LinkedIn - http://www.linkedin.com/groups?home=&gid=3127051&trk=anet_ug_hm

アクセシビリティの考慮事項

Financial Management リリース 11.1.2.3 のユーザー・インタフェースはアクセシビリティをサポートしていません。

この README ファイルは HTML 形式でも表示できます。

著作権情報

Financial Management Readme, 11.1.2.3.000

Copyright © 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: EPM 情報開発チーム

Oracle および Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS:

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。